

# 国 語（現代文） 解答例

大阪公立大学	2026 年度	一般選抜前期日程	2026 年 2 月 25 日実施
--------	---------	----------	-------------------

四	三	二		一
森は異国の地で根深い孤独と絶望の時間を過ごすことで対象の実相が見えてきて、自分が生きているという意識を実感し始め自身の中に精神的な時間の流れを自覚したが、それは森だけでなく、出自や国籍とは無関係にすべての人間に通じるものだという事。	異国の地で時間を過ごすことで自らの知覚を覆っていたイメージや知識を剥落させて対象の実相を見ることができるようになった現象を、不透明なカタクリ粉の塊がある瞬間から透明になり始めることにたとえたもの。	(2) 私たちの主体的な働きかけによって希望する成果や結果を期待できず、内面に自発的に生じる変化でその実在を知ることになるという特徴。	(1) 「感覚的時間」は私たちの感じ取る、社会を循環する時間だが、「身体的時間」は身体がゆっくりと変化していく時間である。一方、「精神的時間」はふだんは実在が意識されないが私たちの内面を流れている時間。	すべてを数量化し多寡を競い合う社会では、時間の循環の仕方がせわしないものに感じられ、時間とのかかわり方が刹那的になっていく、ということ。

七	六	五	四	三	二	一
両者は経験に基づく根源的理解による点では共通している。しかし、自己愛は人間として生きるかぎり根源的には失われないが、他者への愛は他者を根源的に了解することはできないので共通の経験を通して他者に共感する必要があるという点で異なる。	他者を愛するためには、他者との経験を共にし他者に「共鳴」しさらにほかの要素も必要である、ということ。	ささまざまな自己の経験による自己了解も絶えず変わってゆく。一方で、私たちは絶えず自己の生と存在の同一性を保持させ、統一的な自己了解をしてきた、という自己了解の両面性。	たえざる自己経験によって。	主語	それだけ	(a) 否  (b) 都度 (は) な く  (c) 呪

※ 解答に関する質問や解説等はお答えしていませんのでご了承ください。 ※ 実際の解答用紙とは異なります。